

参考資料

〈実隆・後土御門天皇・甘露寺親長の行様〉

〈初折・表〉

〈初折・裏〉

〈二折・表〉

〈二折・裏〉

〈三折・表〉

〈三折・裏〉

〈名残折・表〉

〈名残折・裏〉

8	7	6	5	4	3	2	1	作者
雑・水辺	雑	秋・動物	秋・動物	雑	雑・光物・聳物	夏・降物	夏・植物	三条西実隆
雑・植物	雑・居所	冬・山類	冬	雑・水辺	雑・水辺	夏	夏・植物	後土御門天皇
雑・動物	雑・時分	雑・時分	秋・降物	秋・動物	秋・水辺	夏・水辺・時分	夏・植物	甘露寺親長

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	作者
雑・人倫	雑・水辺・植物	雑・名所・水辺	雑・水辺	秋・旅	秋	雑・述懐	冬・降物	恋	恋	春・植物	春・植物	雑・動物・山類	雑・水辺・山類	三条西実隆
雑・神祇	雑・名所・水辺	雑・時分	雑・光物	秋・居所	秋・植物	雑・山類・聳物	夏・降物	恋	恋	恋・光物	春・光物	春	春・植物	後土御門天皇
雑・水辺	雑・水辺・植物	恋	恋	雑・時分	雑・名所・居所	春・山類	春・植物	春	雑・人倫	雑・名所	雑・山類	冬・降物・山類	雑・居所	甘露寺親長

36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	作者
雑・光物・時分	雑・聳物・動物	雑・水辺	春・水辺・降物	春・聳物	春・名所・植物	秋・植物	秋・降物	雑・光物	雑・人倫	雑・神祇	恋・釈教	恋	恋・人倫	三条西実隆
春・水辺	雑・居所	秋・居所	秋・旅	秋・動物	秋・降物・衣裳	恋・光物	恋	春・動物・恋	春・居所・聳物	雑	雑・降物	雑・人倫	雑・神祇	後土御門天皇
秋・降物	雑・山類・時分	雑	春・植物	雑	恋	恋	雑・人倫	雑	雑	冬・降物	冬・山類	秋・植物	秋・聳物	甘露寺親長

50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	作者
秋	秋・降物	雑・居所	恋・人倫	恋	夏・動物	夏・降物	雑・聳物	春・山類	春・植物・名所	雑	雑	雑・人倫	恋・時分	三条西実隆
秋・光物・恋	秋・恋	春・居所	春・山類	雑・山類	雑・水辺	恋	恋	恋	雑・述懐	雑・述懐	雑・人倫	春・山類・時分	春・聳物・水辺	後土御門天皇
雑・衣裳	雑・人倫	雑・人倫	冬・水辺	春・名所・山類	春・聳物	雑・居所	雑・神祇	雑	雑	雑・水辺	雑・水辺	雑・旅	秋・動物	甘露寺親長

64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	作者
恋	雑	雑	雑・旅	秋・光物	秋・降物	雑・述懐	雑・人倫・植物	雑・述懐	雑・述懐	春・聳物	春・動物	春・植物	秋・釈教	三条西実隆
秋・釈教	秋・光物	秋・動物・植物	秋・植物・降物	雑・居所・植物	雑・居所	雑・山類	雑・釈教	冬・釈教	雑・人倫・述懐	雑・人倫	恋・衣裳	恋・時分	恋・時分	後土御門天皇
夏・居所	秋・動物	秋・名所	春・植物	春・聳物・山類	春	雑・水辺・人倫	雑・水辺	雑・釈教	雑・述懐	雑・人倫	春・植物	雑・時分・光物	秋・聳物	甘露寺親長

78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	作者
雑・神祇	雑・神祇	雑・人倫	雑・居所	夏・動物	秋・降物・水辺	秋・聳物・水辺	秋・光物	雑・光物	冬・植物	冬・人倫	冬・降物	雑	恋	三条西実隆
春・聳物・光物	春・人倫・時分	春・述懐	春・居所・時分	秋・植物	秋・衣裳・時分	秋・光物・動物	雑	雑・山類・聳物	秋・動物・山類	春・植物・降物	春・植物	春・植物	恋	後土御門天皇
雑・山類・人倫	冬・時分	秋・聳物・居所	秋・降物	秋・植物	夏・居所・植物	夏・居所	雑・人倫・時分	雑・降物	雑・動物・時分	雑・山類	雑・居所	冬・居所・光物	冬・降物	甘露寺親長

92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	作者
雑	春・聳物・光物	春・植物	春・山類・時分	雑・降物・時分	雑	雑・水辺	秋・植物	秋・衣裳・降物	雑・光物	雑・述懐	雑・述懐	雑・述懐	雑・神祇	三条西実隆
雑・植物・釈教	雑・水辺	春・動物	春・植物	春・植物	冬・降物	雑・名所	雑・旅	雑・人倫	雑・人倫	雑	雑・神祇	雑・水辺・人倫	雑・水辺・人倫	後土御門天皇
秋・居所・時分	秋・光物・山類	雑・述懐	恋	恋	雑	雑・居所	春	春・植物	雑・人倫	雑・人倫	夏・降物・名所	雑・水辺・人倫	雑	甘露寺親長

100	99	98	97	96	95	94	93	作者
秋・聳物	秋・光物・水辺	秋・植物・居所	雑・植物・居所	冬	冬・降物・山類	雑・動物	雑・述懐	三条西実隆
雑・山類	秋・山類	秋・時分・衣裳	雑・光物・時分	雑	雑・述懐	雑・人倫	雑・衣裳	後土御門天皇
雑	雑	雑・人倫	雑・述懐	雑・水辺	雑・神祇	雑・神祇・名所	秋・衣裳	甘露寺親長

康正元年	一四五五	一歳	実隆誕生、幼名公世。
長祿四年	一四六〇	六歳	父・公保没。三条西家当主になる。応仁の乱起こる。
応仁元年	一四六七	十三歳	元服。実隆に改名。
文明元年	一四六九	十五歳	和歌御会列座。月次和歌御会列座。
文明五年	一四七三	十九歳	日記『実隆公記』書き始める。肖柏と交流。古今集校合。
文明六年	一四七四	二十歳	宗祇『源氏物語』講釈聴聞。
文明九年	一四七七	二十二歳	禁裏千句連歌会の会員十人の一人に選ばれる。応仁の乱終。
文明十年	一四七八	二十四歳	勧修寺教秀の女と結婚。邸炎上。
文明十三年	一四八一	二十七歳	狭衣物語第一校合。禁裏千句連歌会参加。
文明十七年	一四八五	三十一歳	『源氏物語』全巻書写完了。実隆百首独吟開始宗祇『伊勢物語』講釈聴聞。
文明十八年	一四八六	三十二歳	『源氏物語』講釈終功。宗祇と「連歌新式」雑談宗祇付け様語る。宗祇から古今伝授を受ける約あったか。
文明十九年	一四八七	三十三歳	宗祇独吟二十首に加点指南。北野社御法楽。宗より古今伝授を受け始める。
長享三年	一四八九	三十五歳	実隆、権大納言。
延徳二年	一四九〇	三十六歳	北野社、土一揆により炎上。
明応四年	一四九五	四十一歳	『新撰菟玖波集』編纂に協力。
明応五年	一四九六	四十二歳	後土御門天皇、春日法楽独吟百韻の添削依頼。
明応九年	一五〇〇	四十六歳	邸炎上。親長没。後土御門天皇崩御。
明応十年	一五〇一	四十七歳	『再昌』に歌を書き留め始める。
文亀二年	一五〇二	四十八歳	宗祇没。
永正三年	一五〇六	五十二歳	二月内大臣になるも、四月に辞任。
永正十三年	一五一六	六十二歳	自邸にて連歌張行。蘆山寺にて出家。
天文六年	一五七三	八十三歳	実隆没。